



第23回 参議院議員選挙

「働くことを軸とする 安心社会」の実現を

私たちの思いを込めた一票で私たちの意見を政治に反映させましょう。

**7月21日(日)
投票日**



「期日前投票」を活用しよう!

投票日に投票に行けない方は前もって投票しましょう。手続きはかんたんです。

- 出張等の仕事や冠婚葬祭などで予定のある方
 - 旅行などの予定が入っている方
 - 入院や出産などでその日に投票に行けない方
- ◆ 投票できる期間は公示日の翌日から投票日の前日まで
◆ 投票できる時間は8:30~20:00までです
◆ 投票場所は、選挙人名簿に登録されている市町の「期日前投票所」です
◆ 詳しくは市町の選挙管理委員会に確認してください

2013年 日 月 火 水 木 金 土
7月 公示日 7/4 5 6

7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20

21 期日前投票ができる日

毎日が投票日

有権者

このたびの選挙では、○○さんを当選させよう。

候補者

私に清き一票を!

政党等

○○党へ投票してください!

電子メール

△△花子 <△△△@△△.ne.jp>

このたびの選挙では是非○○さんを当選させましょう。

有権者が、電子メールで選挙運動を行うことは禁止。

ウェブサイト等

ホームページ・ブログ・SNS(ツイッターフェイスブック等) 動画共有サービス・動画中継サイト等

△△花子 <△△△@△△.ne.jp>

このたびの選挙では是非○○さんを当選させましょう。

○○太郎 <○○○@○○.ne.jp>

私は、このたびの選挙に出馬しました○○太郎です。

清き一票を、お願いします。

電子メール

○○太郎 <○○○@○○.ne.jp>

私は、このたびの選挙に出馬しました○○太郎です。

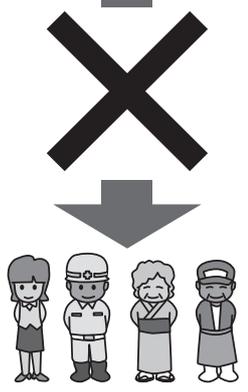
~~~~~

清き一票を、お願いします。

※氏名、電子メールアドレス等の表示義務  
※一定の記録の保存義務  
自らアドレスを通知し、受信に同意した相手等送信先には一定の制限があります。

**※電子メールアドレス等の表示義務**

(注)・電子メールアドレス等とは、電子メールその他のインターネット等を利用する方法により、その者に連絡する際に必要となる情報であり、具体的には、返信用フォームのURLやツイッターのユーザー名などが含まれます。  
・電子メール(SMTP方式及び電話番号方式)以外の通信方式を用いて、SNSのユーザー間でやり取りするメッセージ機能は、「ウェブサイト等」に含まれます。



**有権者**



※本資料は概要であり、詳しくは総務省HPをご覧ください。

**インターネットを使った選挙運動が出来るようになります!!**

**注意**

○選挙運動とは、特定の選挙について、特定の候補者の当選を目的とし、投票を得又は得させるために、直接又は間接に有利な行為のことで、選挙運動は、公示告示日から投票日の前日までしか行うことができません。

○未成年者等は選挙運動をすることができません。

○選挙運動とは、特定の選挙について、特定の候補者の当選を目的とし、投票を得又は得させるために、直接又は間接に有利な行為のことで、選挙運動は、公示告示日から投票日の前日までしか行うことができません。

**STOP  
THE  
格差社会!**

暮らしの  
底上げ  
実現。

# いまこそ、暮らしの 底上げを!



連合は、「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」キャンペーンを通じ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に取り組んでいます。

## 連合が取り組む課題



### 労働規制の緩和、労働者保護の後退には断固反対!

#### クビ切り自由化制度導入の反対

- 「解雇の金銭解決制度」により、違法な解雇であっても、労働者は職場に戻れなくなってしまう。お金さえ払えばクビにできるという問題のある制度です。

#### 新たな格差を生じさせない

- 正社員の労働条件の引き下げに悪用される可能性があり、その処遇が固定化されかねません。

#### 残業代不払い制度導入の反対

- どれだけ働いても残業代が支払われなくなるだけでなく、実労働時間が把握されなくなり、長時間労働に拍車がかかりかねません。

この他にも、民主党政権下で進んだ労働者保護の制度を後退させ、格差社会を拡大させる動きに断固反対します。



### 政府は自ら賃金デフレの引き金を引くな!

- 連合は公務員の労働基本権を回復させ、労使交渉に基づく労働条件決定を求めています。
- 地方自治体に対しては、労使交渉を尊重し、給与引き下げを行わないよう求めています。



### 「全世代支援型」の社会保障制度改革を先送りするな!

- 連合は高齢者中心の社会保障から、「全世代支援型」の社会保障制度への抜本改革を求めています。
- 連合は、待機児童の解消や子育て世帯の経済的負担の軽減、様々な理由で生活に困窮し社会的に孤立するリスクの高い人たちを支援する制度の構築を求めています。



### 最低賃金の堅持・発展で賃金・生活を底支え!

- 連合は「誰もが生活できる最低賃金水準」への早期到達に向けて取り組んでいます。
- 法定最低賃金の引き上げのためには、単組における企業内最低賃金協定の取り組みが重要です。



### ワーク・ライフ・バランスを後退させるな!

- 連合は、少子高齢社会に対応できるワーク・ライフ・バランス社会の実現を求めています。
- 連合は、雇用における男女格差を解消し、男女が共に活躍できる環境整備を求めています。

働く者の雇用と労働条件の改善をはかり、国民の暮らしを底上げしなければ、我が国の再生もあり得ません。私たちは、「働くことを軸とする安心社会」か「格差社会」かの分かれ道に立っています。連合は「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、組合員への理解活動とキャンペーンの参加促進とともに、共に運動する仲間を増やし、街宣活動などを通じた世論喚起を行っていきます。

